

ヤマト絵日記 その13

ドローンサッカーは2016年
サッカーは得意なんです
韓国で始まった新感覚エンターテインメントスポーツ

ドローンサッカーでもあり
飛んだ!!
サッカーでもあり
スクワット!

ドローンレースでもあり
おスポーツでもあり
格闘技の要素もあり
いて...

子どもから高齢者まで楽しめるバリアフリーな競技です
西城自治振興区はドローンサッカーで元気になります!!

愛善苑で活動する生徒への取材

こんにちは！西城自治振興区で地域貢献活動を行っている管です！
今回はなんと！『愛善苑』で地域貢献活動をしているA君の元へ取材して参りました！



それらの活動を通し、己を成長させることへの第一歩を歩むことができる為、とてもやり甲斐があるそうです！



A君は、学校の先生や先輩の影響から愛善苑で活動することを決め、主に利用者様とお話したり、利用者様の写真や動画を撮影し、紹介動画などを制作したりする活動を行っています！



A君はこれからも一生懸命活動を頑張っていくので、皆様どうぞ応援よろしくお願いします！

記：西城自治振興区 管

西城自治振興区だより 2024.9.20(金) Vol.147

西城まちづくり便

〒729-5722 広島県庄原市西城町大佐734
TEL/FAX:0824-82-2175
e-mail:saijyo.jichi@gmail.com

ヒバゴンのまち 自然豊かな広島県庄原市西城町の様々な情報をお届けします♪

西城町観光協会とタイアップした情報サイトです
地域の情報などを発信します *こちらからお入りください

いつ起こっても、おかしくない自然災害に強いまちづくり！ ～わが家の防災計画は、そのうちではなく、今すぐにも！というのが、本当なのかも！！～

今年、元旦の能登半島地震では、ありとあらゆる災害が発生しました。住民から次々と、「土砂崩れで道路が通行できない」「孤立している」「住宅が倒壊した」「床上まで土砂が流入している」「断水している」「停電している」などと切羽詰まった助けを求める声が消防に届いたと聞きます。私たちの西城でも、大規模災害が起きると、同じような緊急事態になることが想定されます。



8月4日(日)早朝の7時から、西城球技場で、庄原市消防団 西城方面隊の夏季訓練が、庄原消防署西城出張所と行われました。普段はなじみすぎて、特に意識しないのですが、この日は、実に厳格な力強い規律のなかで行われる訓練の様子に、消防団の圧倒的な存在感を感じました。登録総数は、195名とお聞きしました。



～地域の守りは、地域住民による自主防災組織と、 地元消防団との連携と協働があつてこそ！！～

今、自治会を中心にして地区防災計画をつくっていますが、こうした地域の人々による「地域の輪」によるとりくみは、災害前準備の体の不自由な人やお年寄り・子どもさんなどの支援を要するお方の避難誘導や、また、能登地震では災害関連死が多く出たことが言われましたが、その後の避難所の運営などには有力な防災対策となります。しかし、災害発生時のいざというときの救命救助・救出、搬送活動などについては、消防署や消防団の訓練された力に大きくすぎることになります。

地域防災は、消防署はもとより、この地元の「地域防災組織である消防団」と「地域住民による自主防災組織」の提携と協働の「地域防災力」にある！と強く思いました。そして、大きな地域の財産であり、地域の安心安全の暮らしの防波堤である消防団について、考え直す機会になりました。お1人が、「消防団員になってみると、それまでの自分とは異なる目で地域社会を見るようになった」とお話しくださり、その言葉に地域防災のエッセンスがあるように感じました。

消防団員の皆様、心からの感謝を申し上げます。
続く8月8日(金)、日向灘を中心とする地震では、南海トラフ地震「巨大地震注意」の臨時情報が初めて発表され、発生率「30年以内・70～80%」への心配や不安が現実のものとなりました。8月20日、「広島土砂災害10年」が大きく取り上げられて報じられました。8月30日には、異例の迷走ノロノロ台風10号が接近。夜半に洪水・大雨・土砂災害警報の緊急情報がたて続けに伝えられ、肝を冷やしました。災害への備えを考えた人は多いだろうと思います。



(防災認識も細かく深まって、事情を抱えた高齢者には、建物の安全さえ確認できれば、避難所に行かない「おうち避難」に備えることが言われました。)

西城消防団後援会
会長 田村富夫

西城自治振興区の動き

第2回 役員会 8月20日(火)
いざなみミック2024～第4回比婆いざなみ街道マラニック大会【11月10日(日)】のエイドステーション(ランナーの休憩地点)4か所(八坂神社・熊野神社・比婆山駅・八鳥集会所)について、いちばんづくり課から担当者を招き説明を受けました。エイドステーション実施に向けて協議をしました。

第2回 環境福祉部会 8月23日(金)
庄原市役所 生活福祉部 高齢者福祉課 地域包括支援センター 主幹 清水めぐみ様を講師に迎えて、庄原市の地域包括ケアシステム研修会を実施しました。庄原市の現状と取り組みについてお話しされました。また、3グループに分かれ西城で出来ること。例えば、回覧板が回らない時などにどうするかを討議しました。



第28回ヒバゴン郷どえりや祭

地域振興部会による会場設営の協力
8月13日(火) どれりや祭が開催され多くの人で賑わいました。実行委員会から準備と片付けの依頼があり、前日と翌日に地域振興部員が協力しました。



パソコン教室 **参加者募集!**

9月27日(金)13:30～
10月11日(金)13:30～
※都合により変更になることがあります
講師:宮原賢治さん

1回5ポイント **来館だけでも**

西城自治振興センターにて
「なみかカード・ほろかカード」で
5ポイント付与されます。1日1回限り
令和7(2025)年3月31日まで

地域に賑わいと活気を～ドローンサッカーを活用して～

令和5年12月16日(土)、「ドローンサッカー体験会西城」を庄原市西城体育館で開催し、競技者50名、来場者40数名、スタッフ及び関係者36名、計120数名の方が、熱気あふれる楽しい一日を過ごしました。その際、参加者の方から、「来年もやって欲しい。」「ドローンサッカーの器具を自治振興区で購入して欲しい。」という声を多数いただきました。そこで、令和6年度自治振興区活動促進補助金交付申請を庄原市に申し込むことを考え、令和6年度の活動計画と予算案を役員会で了承していただき、令和6年5月末に申し込みをしました。



ドローンサッカー体験会in西城

申請書の事業の目的は「今回の申請によって、振興区を中心とした『若者の地域づくりの参画』や『多世代間交流』の創出による『人と人の繋がりや絆』を深め、地域に賑わい(元気)と活気(活力)を取り戻そうとするものです。」としました。事業の効果については、「若者(小・中・高校生及び保護者等)の参加による賑わいの創出により、地域との繋がりが深まり、自治振興区の認知度向上に加え、ファン(リピーター)獲得につながる。参加者による自発的な情報発信(拡散)が期待できる。」「ドローンサッカー」は体力に関係なく子どもから大人まで気軽に参加できることから、継続的な多世代間交流につながる。」としました。7月5日の審査会に向けて「事業の目的」や「事業の効果」を中心にパワーポイント作成し、7月4日の役員会に提示し、活発な意見交換や激励の感想や多数の助言等をいただきました。次の日はいよいよ選考会です。



ドローンサッカーの機材



ドローンサッカー体験会in西城 開会式

選考会では、大学教授、元市の職員、地域づくりの実践者2名の計4名の方が選考委員で、自治定住課の課長、係長、主事の3名が立ち合いをされていました。かなりの緊張感はありましたが、前日の役員会でプレゼンを実践していたので、8分以内の発表を行うことができました。質問は各委員の方から様々な角度から受けました。「予算に人件費はいれないんですか?」「事業効果の根拠は?」「なぜ、ドローンサッカーを西城でするんですか?」等について私と地域マネージャーで応答しました。委員の方がドローンサッカーに興味を持たれていたようで、具体的な活用について意見を出された方もおられ、少し手ごたえを感じました。25分間の審査会はあっという間に終わりました。通知が届くまではとても心配していましたが、申請通りに受理され安心しました。これから、機材を揃え、具体的な実践を積み重ねていき、ドローンサッカーを活用して地域に賑わいと活気を生み出していきたいと思えます。まずはドローンに触って動かしてみる体験から始めていきますので、よろしくお願いたします。 副会長 吉浪 謙三(地域振興部世話人)

子どもの居場所「ひなたぼっこ西城」

～地域で応援し、子育ての輪を広げよう、子どもたちの幸せを願って!～

7月29日(月)10:00～ひなたぼっこ西城が、この日は夏休み企画(かしわ餅づくり)として大勢の住民の皆さんの応援も得て、36名(うち小学生16名)の子どもたちが集いました。昨年の7月31日に、学校になじめない子どもたちが安心して過ごせる場とし、十日市田淵宅を借りて開設され、もう1年になりました。

当時の新聞では、「民家を利用しオープン、地元住民と社協とでつくる委員会が運営、毎月第1・3月曜日の午前10時～午後2時、小中学生を対象、不登校の児童、生徒をもつ保護者から支援施設を求める声が高まり、住民が民家を提供、子どもたちの希望でゲームや勉強などをし、おかずなどをつくって昼食を一緒に食べる、参加費100円」と報じられました。

学校になじめない子どもたちの居場所が、地域の中にできて良かった。

活動を通じて子どもたちが元気になってほしいと願っています。 地元住民委員 田村富夫



十日市 田淵宅

八鳥自治会の事業

毎月開催八鳥歌声ひろば

愛善苑・シルバーリハビリ「ひより」の皆さまをお迎えして、アコーディオン奏者 古川由紀さんと八鳥の5名の先輩の方と一緒に歌を歌い楽しい1日を楽しみました。とても懐かしさと一緒に会場が盛り上がりました。毎月一度開催しています。



八鳥ふれあいサロン会長 瀧本明人談

第140回男性料理教室

年10回開催しています。7月31日(水)の開催で第140回目を迎えました。玉ねぎとキュウリのたらこあえ、カレーの煮つけなど。感染予防をし、地元の料理に詳しい方たちの指導の下、頑張って作りました。

最後に食事の時、皆満足して美味しく頂きました。食事を作ってくれる方の苦勞をしみじみ感じています。



男性料理教室に参加されたみなさん

カレーの煮つけ・ガーリックフライドポテト・玉ねぎときゅうりのたらこ和えなど

八鳥の盆踊り

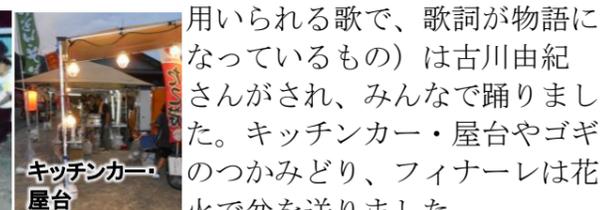
八鳥の盆踊りを8月14日(水)に開催しました。口説き(盆踊りに用いられる歌で、歌詞が物語になっているもの)は古川由紀さんがされ、みんなで踊りました。



古川さん



盆踊りを楽しむみなさん



キッチンカー・屋台

キッチンカー・屋台やゴキのつかみどり、フィナーレは花火で盆を送りました。

夕涼み会

8月14日(水)大佐村集会所に提灯で飾り付けをして、夕涼み会を開催しました。小さな子どもから高齢者まで、総勢約130名が参加しました。日中は子ども達を対象にヤマメのつかみ取り、夕方からはビンゴゲームや金魚すくい、炭火焼などで盛大に盛り上がりしました。

大佐村事務局長 山本昭美談



大佐村集会所



炭火焼



ヤマメのつかみ取り



ビンゴゲームの賞品

琴修会(大正琴)

大正琴の美しい音色に癒されます。教室は、田原恵美先生のもと毎月第2・4水曜日13:00～大正琴は、右手と左手の違う動きがボケ防止につながります。また、譜面に数字が書いてあるのでひきやすく幅広い年代で演奏してもらえそうです。課題曲をマスターしたときは、やりがいを感じられるそうです。(生徒談) 皆さん一生懸命練習されます。(先生談) 練習あとのおしゃべりも楽しみのひとつだそうです。是非一緒にやってみませんか!!



瀬戸の花嫁を演奏

大正琴

生涯学習自主運営教室



メンバー募集中!

琴修会のみなさん